

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護学概論		1（30）	2	第2学期	① 非常勤講師（15時間） ② 看護師（15時間）
目 標					
精神保健、こころの健康、精神看護の概念及び精神障害者問題の社会的背景を理解し、精神看護において看護職が担う機能と役割について学ぶ					
ディプロマポリシーとの関連：DP1、DP2、DP5、DP6の達成に寄与					
回	時間	授業内容	授業方法	担当	
1	2	1. 精神保健の考え方（1）	講義	①	
2	2	1. 精神保健の考え方（2）	講義	①	
3	2	2. 心の動きと人格の形成（1）	講義	①	
4	2	2. 心の動きと人格の形成（2）	講義	①	
5	2	3. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策（1） 1）精神医療の歴史・沿革 ①精神障害と治療の歴史 ②日本における精神医学・精神医療	講義	①	
6	2	3. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策（1） 1）精神医療の歴史・沿革 ③精神障害と文化 ④精神障害と社会学	講義	①	
7	2	3. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策（2） 2）精神障害と法制度 ①障害者基本法 ②自殺対策基本法 ③障害者虐待防止法 ④障害者総合支援法	講義	①	
8	2	3. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策（3） 2）精神障害と法制度 ⑤精神保健福祉法 ・改革ビジョン ・患者の権利擁護（自己決定の尊重、意志決定支援基本的な処遇、 精神医療審査会、行動制限：隔離・身体拘束・入院形態） ⑥医療観察法	講義	②	
9	2	4. 精神看護の概念 1）精神看護の位置づけ 2）精神看護の目的と意義 3）精神看護における対象理解と支援のための概念	講義	②	
10	2	5. 精神の健康の概念 1）精神の健康の定義 2）精神の機能と発達	講義	②	
11	2	6. ライフサイクルと危機的状況 1）危機の概念 2）危機の予防 3）危機介入 4）ストレスと対処	講義	②	
12	2	7. 臨床における心の健康状態 1）患者と家族の心の健康 2）看護師のメンタルヘルスケア	講義	②	
13	2	8. リエゾン精神看護	講義	②	
14	2	9. 地域の精神保健活動：社会復帰施設 1）社会資源の活用とマネジメント 2）他職種連携と看護の役割	講義	②	
15	1	10. 災害時の精神保健医療活動 1）精神保健に関する初期対応 2）精神障害者への治療継続	講義	②	
16	1	終講試験		①	
授業形態		講義および演習			
評価方法 点数配分		筆記試験 50点 課題 50点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト		精神看護の基礎：医学書院 精神看護の展開：医学書院 死生の臨床人間学-「死」からはじまる「生」：晃洋書房			
その他					

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神臨床総論	1（30）	2	第2学期	① 非常勤講師（15時間） ② 看護師（15時間）
目 標				
1. 主な精神障害の病態、症状、治療、検査等について学ぶ 2. 精神に障害のある対象の看護の基礎的知識について学ぶ				
ディプロマポリシーとの関連：DP4、DP5、DP2の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	担当
1	2	1. 精神症状の理解 1) 精神症状の理解 ①思考の障害 ②感情の障害 ③意欲の障害 ④知覚の障害 ⑤意識の障害 ⑥記憶の障害 ⑦局所症状 2) 検査 ①脳波検査 ②知能検査 ③心理検査 ④記銘力検査 3) 治療 ①薬物療法 ②精神療法 ③生活療法 ④電気けいれん療法	講義	①
2	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（1） 1) 気分（感情）障害	講義	①
3	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（2） 2) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	講義	①
4	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（3） 3) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	講義	①
5	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（4） 4) 統合失調症	講義	①
6	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（5） 5) 心理的発達の障害 6) 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害 7) 性同一性障害 8) パーソナリティ障害	講義	①
7	2	2. 主要な精神疾患の病態、症状、治療、検査（6） 9) 習慣および衝動の障害 10) 物質関連障害	講義	①
8	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（1） 1) 患者の特徴 2) 精神看護の役割 3) 精神に障害をもつ対象の日常生活援助	講義	②
9	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（2） 1) 統合失調症の患者の看護※各項目に症状、臨床・心理検査、薬物療法を含む	講義	②
10	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（3） 2) 気分（感情）障害の患者の看護	講義	②
11	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（4） 3) 神経症性障害、ストレス関連障害の患者の看護	講義	②
12	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（5） 4) 物質関連障害の患者の看護	講義	②
13	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（6） 5) 各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調の患者の看護①	講義	②
14	2	3. 精神に障害をもつ対象の看護（7） 5) 各発達段階であらわれやすい精神障害・心的不調の患者の看護②	講義	②
15	1	3. 精神に障害をもつ対象の看護（8） 7) 医療観察法の看護	講義	②
16	1	終講試験		①
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	精神看護の基礎 : 医学書院 精神看護の展開 : 医学書院			
その他				

【専門分野】

科目		単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護援助論Ⅰ		1（15）	3	第1学期	① 看護師（13時間） ② 音楽療法士（2時間）
目 標					
精神に障害のある対象を理解するための看護技術について学ぶ					
ディプロマポリシーとの関連：DP3、DP2、DP4、DP5、DP1、DP6の達成に寄与					
回	時間	授業内容	授業方法	担当	
1	2	1. 援助関係の構築（1） 1）交流分析による自己分析 2）自己分析結果の活用	講義	①	
2	2	1. 援助関係の構築（2） 3）コミュニケーション技術 4）精神看護における患者－看護師関係	講義	①	
3	2	1. 援助関係の構築（3） 5）プロセスレコードの意義と活用	講義	①	
4	2	2. プロセスレコードの記入方法と分析	講義	①	
5	2	3. 事例によるプロセスレコードの実際 1）記載・分析	講義 GW	①	
6	2	2）プロセスレコードの振り返り、意見交換	講義 GW	①	
7	2	4. 心のケアを必要とする対象への治療的介入 1）音楽療法 ①目的 ②音楽療法士の役割と実際の活動	講義	②	
8	1	終講試験（筆記試験）		①	
授業形態		講義および演習			
評価方法 点数配分		筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト		精神看護の基礎：医学書院 精神看護の展開：医学書院 自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード：日総研			
その他					

【専門分野】

科目	単位（時間数）	年次	開講時期	担当者
精神看護援助論Ⅱ	1（30）	3	第1・2学期	① 看護師（14時間） ② 看護師（16時間）
目 標				
1. 精神に障害のある対象の看護の実践について学ぶ 2. 心のケアを必要とする対象の自立支援施設、在宅への支援の実践について学ぶ				
ディプロマポリシーとの関連：DP5、DP2、DP6、DP3、DP4、DP1の達成に寄与				
回	時間	授業内容	授業方法	担当
1	2	1. 統合失調症患者の看護（1）（事例展開） 1）対象の理解（アセスメント） 2）看護問題の抽出	講義 演習	①
2	2	統合失調症患者の看護（2） 3）看護計画の立案（治療と援助）	演習	①
3	2	統合失調症患者の看護（3） 4）看護計画の立案（セルフケアへの援助）	演習	①
4	2	統合失調症患者の看護（4） 5）看護計画の立案（社会復帰に向けた援助）	演習	①
5	2	2. 気分障害患者の看護（1）（事例展開） 1）対象の理解（アセスメント） 2）看護問題の抽出	講義	①
6	2	気分障害患者の看護（2） 3）看護計画の立案	演習	①
7	2	気分障害患者の看護（3） 4）援助の実践	演習	①
8	2	3. 精神看護における安全管理（1） 1）病棟環境の整備と行動制限	講義	②
9	2	精神看護における安全管理（2） 2）自殺、自殺企図、自傷行為への対応	講義	②
10	2	精神看護における安全管理（3） 3）攻撃的行動、暴力予防プログラム（CVPPP）	講義	②
11	2	精神看護における安全管理（4） 4）災害時の精神科病棟の安全の確保	講義	②
12	2	4. 社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 1）医療に関わる社会資源（精神科デイケア、精神科ナイトケア、精神科訪問看護、行政との連携）	講義	②
13	2	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 2）生活を支える社会資源（自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、地域活動支援センター、グループホーム、福祉ホーム、居宅介護と同行援護、短期入所、移動支援）	講義	②
14	2	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 3）当事者の力を高める援助（セルフヘルプグループ、家族会）	講義	②
15	1	社会復帰・社会参加へ向けての社会資源の活用 4）多職種連携と看護の役割	講義	②
16	1	終講試験		②
授業形態	講義および演習			
評価方法 点数配分	筆記試験 100点 他の事項については履修規程の第5条、第6条に定めるとおりとする			
テキスト	精神看護の基礎 : 医学書院 精神看護の展開 : 医学書院			
その他	事例を活用し具体的に学ぶ			